

あいの広場

8月届出分

●お誕生おめでとう (敬称略)
(出生児) (保護者) (公民館)
下大迫 陽 花 浩 作 上下大迫
H15. 8. 19生まれ

●おくやみ申し上げます (敬称略)
(死亡者) (届出人) (公民館)
西 清 美 81 キ ミ 紫 尾 中
室 屋 光 義 90 宏 町
大 山 虎 雄 83 達 夫 鶴 宮 園
中 村 ミ ヤ 86 哲 川 口

善意の灯火 (8月分)

●香典返し (敬称略)
(寄付者) (公民館)
平 マス子 (故 穎娃ハツエ) 薩 摩 町
西 キ ミ (故 清 美) 紫 尾 中
室 屋 宏 (故 光 義) 鹿 児 島 市

休日在宅医

10月 5日 国吉内科 (内科) 53-1451
薩摩町立診療所 (内科) 57-0020
12日 医師会病院 (内外) 53-0326
13日 溝口整形外科 (整形) 52-4668
市比野温泉医院 (内科) 樋脇町 38-0037
19日 相良医院 (内児) 53-0160
26日 宮之城病院 (精神科) 53-0180
木脇医院 (内放) 東郷町 42-0141
11月 2日 立志病院 (内科) 55-9119
3日 MKリハビリテーション病院 (内科) 53-1704
黒木診療所 (内科) 祁答院町 55-0056

世帯数と人口

8月31日現在住民基本台帳

世帯数 1,833戸 (前月比 0戸)
人 口 4,970人 (前月比 - 2人)
男 2,352人 (前月比 - 2人)
女 2,618人 (前月比 0人)

シリーズ67 ふるさと いいとこ歩き

歳久と平松神社

(金吾 じよう)
島津左衛門尉歳久は、十五代貴久の三男です。長兄は十六代義久、次兄は十七代義弘で、歳久はその弟です。母は、入来院^{（入来院）}正忠重の長女で、天文6年7月10日に生まれました。

城主伊藤権頭玄蕃の妻梅を連れてきて、鶴ヶ城に梅君ヶ城に住まわせました。天正15年5月、秀吉が九州征伐に來たので、義久は川内で降伏しました。義弘は、鶴田で降伏しましたが、歳久は降伏しないままでしたし、秀吉の朝鮮征伐のとき、歳久は出兵しなかったり、梅北一党が秀吉方に反抗したとき、歳久の家来もいたとかで、秀吉に憎まれ、始良町平松で自害^{（自害）}させられました。その慰霊のために、義久は平松に心岳寺を建てましたが、

明治になってから平松神社に改称されました。その分社の一つが城内の平松神社です。古文書に村の西にあって式反歩^{（式反歩）}で無格社、例祭は7月18日とあります。歳久と共に自害した人は27人でしょうか、始良の平松神社裏に27人の墓石があります。歳久の霊は「心岳良空大禅伯」と呼び、武神や、大石で切腹したとかで安産神ともされ、この文字を書いた大石が平松神社のご神体です。大石神社とか大石様と呼ばれているところもあります。



平松神社

